

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



本社

- 本社所在地：宮城県仙台市青葉区熊ヶ根字野川26番地の6
- 事業概要：廃棄物収集運搬・処分、清掃業を中心とし、仙台市内の家庭ごみ収集運搬のほか、安定型最終処分場運営、使用済み太陽光パネルの中間処理、上下水道施設維持管理等ライフラインに関わる事業
- 常時使用する従業員：180名（2025年10月時点）
- 現在の売上高：20億円（2025年3月期）
- 法人番号：8370001011051
- Web：https://www.miyagi-ek.co.jp



代表取締役
砂金英輝

明るい衛生環境づくり

私たち株式会社宮城衛生環境公社は、皆さまの明るい衛生環境づくりを約40年にわたり守り続けてきました。これから先においても「明るい衛生環境」を守り続けるために、脱炭素経営を成長戦略の柱とし、地球環境を守る経営こそが子供たちへ未来を贈ることができるとの認識を持ち、循環経済への貢献を念頭に置いた資源循環への取り組みを具現・加速化し、脱炭素+本業で持続可能な社会の実現に向けて挑戦を続けていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億円達成に向け、使用済み太陽光パネルリサイクル事業を含む資源循環に資する新規事業及び既存事業などの拡大を基本に年平均17%程度の成長を目指す。

課題

- 持続的な人材の確保と育成
- 社内DX化の推進による業務の効率化と生産性の向上
- 太陽光パネルリサイクルに関する認知・理解拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 使用済み太陽光パネルのリサイクル業務拡大及び発電施設後（跡地）の資源循環業務拡大
- 既存業務である清掃業等への設備投資と体制増強による業務拡大
- 廃棄物から資源物へなどマテリアルリサイクル事業の増強及び高効率化・収益化の推進
- 既存事業の垂直展開と廃棄物関連の新規事業水平展開によるシナジー効果創出
- 不動産事業、農業分野における資源循環、M & A

実施体制

- 脱炭素経営のさらなる推進による企業価値向上
- 太陽光パネルにかかる各協会・団体などとの連携による太陽光パネルリサイクルの重要性認知と情報発信
- 資源循環業務に資する管理職級人材の新規雇用と社内体制の再編
- 既存業務の高効率化に向けた施設・設備の新設と人材の再配置による生産性の向上
- 農業部門等における資源循環を目指した体制の構築

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

資源循環施設（使用済み太陽光パネルリサイクル施設）「エコロジーセンター愛子(あやし)」を主軸に資源循環事業で100億円達成

太陽光パネルの耐用年数は、20年から30年と言われており、2030年代前半には年間30万トンの使用済み太陽光パネルが市場に排出されると予測されております。こうした大量の排出は社会的に大きな課題となることから、当社としては、同課題を解決し、さらに最終処分場への廃棄量の削減や資源循環に向けた使用済みの太陽光パネルのリサイクル施設を建設し運営しております。加えて、廃棄物を資源物(有価物)とするマテリアルサイクル事業の拡大など資源循環を主軸にした「資源循環事業」へ注力することで、力強い成長を図っていくこととします。

売上高

